

一般質問

令和4年3月3日、4日の
2日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。



一般質問 3月3日



一般質問 3月4日

質問▼総合公園の今後、総合案内での情報発信については。
答弁▼令和4年度以降、駐車場を拡充したり、遊具を充実、防災機能を強化して公園全体の利便性を高めていく。



指定管理者制度の導入一覧 QR コード

質問▼現状と今後の考えは。
答弁▼本市での候補者選定は、施設の特性に合わせ、重視する項目を設定している。今後も、選定基準の厳格化がなされるよう、細やかな評価項目の検討をしていく。

選定委員は利用団体推薦の市民の委員も選任することで、適切に客観的判断ができるないと認識している。市民サービス向上と効率化という点でも毎年の実績評価は施設によっては日安箱やアンケートで利用者の声を反映している。

質問▼人事異動や職員間交流などを通した人材の育成や配置の適正化、また幅広い人が働ける場所になることを期待している。

答弁▼人事異動や職員間交流などを通した人材の育成や配置の適正化、また幅広い人が働ける場所になることを期待している。

令和みらい
荒井秀樹
総合公園だて歴史の杜の今後
質問者選定・
質問日 3月3日



公明党
大光 力
りき

質問日 3月3日

伊達地区の道路除雪について

質問▼公共施設のネーミングライツについて問う。

答弁▼公共施設には市民公募した愛称や親しまれた名称があるので慎重に判断する。

施設の維持管理に有効であることは理解しており、伊達と関わる企業にお願いしたり、常時公募などの方法も検討していくみたい。

質問▼除雪要請や苦情は何件あったのか問う。

答弁▼2月の21、22日の大雪に関連した苦情や除雪要請の電話が700件あった。

質問▼除雪状況などの市民への情報提供について問う。

答弁▼市民にはFMラジオで積極的に除雪状況や排雪場所



家から出られない!大雪災害

などの情報を提供したい。

質問▼今後の除雪態勢について問う。

答弁▼2月の大雪を踏まえ、通常除雪態勢と災害級の降雪を区別する基準を設け、市全体で対応する方法を考えいく。

また、国や道に支援を受けられないか相談したい。



自民クラブ
岩村和則
いわむらかずのり

質問日 3月3日

深夜災害時の市の対応について

質問▼トンガ諸島沖海底噴火に伴う津波注意報は気象庁にて深夜に発令されたが、その場合の市民周知はどうなるか。

答弁▼津波注意報の段階は気象庁と密に情報交換し発令はせず、津波警報に切り替わった段階で関係職員も一気に動き出す。市民周知はモーター・サイレンやJアラートを発報しお知らせする。

質問▼区域によって津波への住民危機意識は違う。危険区域の自治会長等へ状況報告をSNS等で情報提供していく可能性は。

答弁▼災害情報アプリが自治会長等になかなか周知されていない。

携帯へのインストールを勧めていきたい。



真夜中の津波警報!

質問▼今後、耐震の関係から府舎の建設も検討段階となるが、市役所の屋上に防災機能を持ち合わせて市民が避難利用できるように設計を検討してはどうか。

答弁▼避難ビル建設も含め、やはり高齢者は海岸線に近い方が良い。市民の意見も聞きながら今後検討して行きたい。

令和みらい
田中秀幸

質問日 3月3日



令和4年度

「市政執行方針」について



伊達市の観光事業について

無会派
寺島徹

質問日 3月3日



稀府小グラウンド跡地で実証実験

質問▼チャレンジショップ支援事業補助金改正の具体的な内容を問う。

質問▼農業者の担い手の育成・確保について、具体的な考え方を問う。

答弁▼令和2年度より運用開始している、地域貢献型チャレンジショップ支援事業を支援の対象外としていた業種にも対象範囲を拡充し、新たなビジネスへのチャレンジがしやすい支援制度とすることで地域活性化を図っていく。

答弁▼デジタル技術を活用した栽培管理の自動化や将来を見据えたカーボンニュートラルの取組についての実証実験を実践、支援し、品質や収量の向上を目指しながら、若手農業者や新規就農者にとって魅力ある農業形態の構築を図っていく。

質問▼国営緊急農地再編整備事業の進捗状況を問う。

答弁▼国より令和4年1月25日付けで事業計画として確定しており、長和の大平地区で約9ヘクタールを施工予定である。今後も各換地区において換地委員会を設立し、地元の合意形成の取組を進めていく。

答弁▼①公社は、幅広い人材確保の受け皿として、持続可能なまちづくりの一角を担っていく。
②主な販売品である伊達野菜の品質向上に努め、来場客の増加を目指す。
③地域の歴史を観光資源とした観光ニーズの高まりを受け、



伊達市観光の拠点 だて観光物産館

質問▼伊達市の観光事業について
①株伊達観光物産公社の位置付けと事業展開をどのようにするのか伺う。

関係機関との連携強化を図り、歴史及び文化的資源の保護と伝承を継続し、魅力的な観光資源としての活用を進める。

②「道の駅だて観光物産館」の今後の展開策を伺う。
③「北黄金貝塚」や「だて歴史文化ミュージアム」の学術的位置づけと観光資源としての位置付けをどの様にバランスをとるのか伺う。
④大滝区の観光の目玉をどう考えているのか伺う。

無会派 吉野英雄

質問日 3月4日



高齢者ワクチン接種3回目は 3月中、64歳以下5月中終了

質問▼3回目ワクチン接種の進捗状況、小児用接種の不安への対応について伺う。

答弁▼医療従事者、高齢者施設入所者は2月中に終了。65歳以上高齢者は3月中に、64歳以下も5月中には終了予定だ。小児用ワクチン接種はファイザー社製。対象者には国のワクチンの安全性・副反応、発症割合の情報を通じし、保護者不安解消に努める。また、接種の有無で差別が生じないように取組んでいく。生じないよう取組んでいく。

質問▼「ロナ融資の返済が本格化するに従い、倒産や休廃業が懸念される。独自の支援策を講ずる考えは。

答弁▼伊達商工会議所と連携し、国や道による各種制度に

質問▼3回目ワクチン接種の進捗状況、小児用接種の不安への対応について伺う。

答弁▼医療従事者、高齢者施設入所者は2月中に終了。

質問▼後期高齢者窓口負担の2割化が10月から始まるが、市内の対象者数を伺う。

答弁▼8月末の試算では被保険者数の約15%、千百名程度。施行後3年間は負担増を3千円までとする経過措置があり、広報、保険者証更新時にお知らせを同封する。

質問▼学校給食での食品ロス削減への取組について問つ。

答弁▼市内全校の各学級へ栄養教諭を派遣し、食育の中で給食ができるまでの工程や残さず食べる事の重要性、残食の破棄の方法など、食育指導を行っている。

質問▼市民への周知は伊達消費者協会の協力でパネル展示や街

に関する相談・申請などの支援、今後の情勢を見極めながら適切な支援事業を実施できる体制を構築していく。



公明党 渡辺雅子

質問日 3月4日

食品ロス削減と フードバンクの取組について

質問▼国より食品ロス削減に関する基本方針が令和2年に閣議決定され、それを受けて本市の取組について問う。

答弁▼努力義務となっているが、計画の必要性については調査していく。農林水産省の削減方針は、本市でも食料資源の有効利用や地球温暖化の抑制にもつながるので推進していく。

質問▼学校給食での食品ロス削減への取組について問つ。

答弁▼市内全校の各学級へ栄養教諭を派遣し、食育の中で給食ができるまでの工程や残さず食べる事の重要性、残食の破棄の方法など、食育指導を行っている。

質問▼市民への周知は伊達消費者協会の協力でパネル展示や街

頭脳発でのリーフレット配布を行っている。

質問▼伊達市社会福祉協議会でフードバンクが実施できないか。

答弁▼社協では生活困窮者へ食品や商品券、現金支給といった支援を行っており、購入した食品を提供する仕組みNPOや市民団体が活動する場合に、市が団体を支援するのは可能である。



本市にもほしいな、フードバンク

自民クラブ 捜堀 博志

質問日 3月4日



自治体DX推進計画・空き家対策・公営共同墓地

質問▼国が定める「自治体DX推進計画」に基づく当市のデジタル化に向けた府内体制について伺う。

答弁▼国が示す令和7年度までの推進計画スケジュールに合わせて、総務課を中心に担当部署と連携を図りながら作業を進めている。



放置された空き家（イメージ画像）

質問▼放棄された空き地・空き家についての行政課題と対応策に伺う。また、適正な管理を目指すための条例化も必要と考えるが見解を伺う。



学舎としても期待される学童施設

質問▼国が定める「自治体DX推進計画」に基づく当市のデジタル化に向けた府内体制について伺う。

答弁▼国が示す令和7年度までの推進計画スケジュールに合わせて、総務課を中心に担当部署と連携を図りながら作業を進めている。

質問▼社会インフラ（基盤）に位置づけられる共同墓地についての市民意識調査の進捗状況を伺う。

答弁▼アンケート調査などはまだ実施していないが合葬墓について、一定のニーズがあることは承知している。

まずは関係者との意見交換等を優先し、実施する方向で進めている。

質問▼アンケート調査などはまだ実施していないが合葬墓について、一定のニーズがあることは承知している。

まずは関係者との意見交換等を優先し、実施する方向で進めている。

質問▼放棄された空き地・空き家についての行政課題と対応策に伺う。また、適正な管理を目指すための条例化も必要と考えるが見解を伺う。

答弁▼授業についていけない児童生徒への対応は学習状況調査や学力テストの結果を分析し日常の様子をもとに学習改善プランを作成し指導している。

今後は確かな学力を定着させるためにAードリルの活用を検討していく。

●それ以外の質問

質問▼人材不足の課題はあるがどうしたら学童で短時間でも勉強する時間をつくれるか。

答弁▼人材不足の課題はあるがどうしたら学童で短時間でも勉強する時間をつくれるか。

質問▼教育行政執行方針の中で子供たちを誰一人取り残すことなく育成する個別最適な学びなど授業改善を進めるとあるが、実際には授業についていけない子は学年が進むのに比例して存在しその対応は現場ごとに差がでてしまう。

どのように取り組むのか問う。

質問▼教育行政執行方針の中で子供たちを誰一人取り残すことなく育成する個別最適な学びなど授業改善を進めるとあるが、実際には授業についていけない子は学年が進むのに比例して存在しその対応は現場ごとに差がでてしまう。

どのように取り組むのか問う。

令和みらい 小久保重孝

質問日 3月4日



個別最適な学びについて

質問▼学習についていけない子たちの中にはボーラーラインの子もある。